

フルイニング®

ジャンボ®



カフェンストロール・
カルフェントラゾンエチル・
フルセトスルフロン・
ベンゾビシクロン粒剤

「フルイニング®」は石原産業(株)の登録商標。「ジャンボ®」は(公財)日本植物調節剤研究協会の登録商標。

除草剤分類 15,14,2,27

全力除草の
ジャンボ剤!



W
2つのヒエ剤の力で
ノビエを
シャットアウト!



特長

- ① 4葉期までのノビエにすぐれた効果
- ② SU抵抗性雑草にも有効
- ③ すぐれた残効性
- ④ ゆとりある散布適期

フィルインゴ® ジャンボ®

有効成分: カフェンストロール …… 4.2%
カルフェントラゾンエチル …… 1.8%
フルセトスルフロン …… 0.44%
ベンゾピシクロン …… 4.0%

人畜毒性: 普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■適用雑草と使用方法

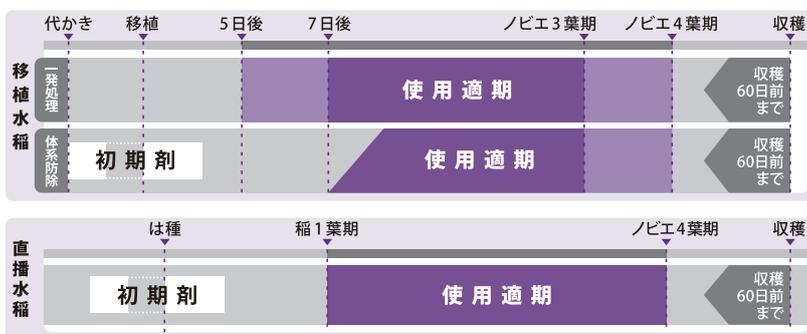
作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草、多年生広葉雑草	移植後5日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(500g)	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる
直播水稻	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで			

各有効成分を含む農薬の総使用回数: カフェンストロール…1回、カルフェントラゾンエチル…2回以内、フルセトスルフロン…2回以内、ベンゾピシクロン…3回以内

■上手な使い方

①使用例

*必要に応じて、初期剤を使用してください。



※地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。

■散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。

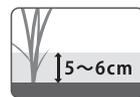
■生育の進んだミズガヤツリ、SU抵抗性ホタルイには効果が劣るので、ミズガヤツリ、SU抵抗性ホタルイが多発する圃場では生育が進む前に使用してください。

②使用のポイント

■代かき
田面が均一になるよう、ていねいに代掻きをしてください。



■湛水深
散布時は水の出入りを止めて、5～6cmの水深にしてください。



■浮遊物
藻類・表層はく離などの浮遊物が多い条件下では、拡散が不十分となり部分的な効果不足や薬害が生じることがあるので、使用をさけてください。



■水管理
散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(3～5cm)を保ち、田面を露出させないようにしてください。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。



■使用上の注意事項

- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 前処理剤との体系で使用する場合、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失ないように適期に散布してください。
- 本剤の使用時期は、移植水稻に使用する場合はノビエの4葉期まで、直播水稻に使用する場合はノビエの4葉期までなので、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレがあるので、必ず適期に散布するように注意してください。草種ごとの散布適期は、下記の通りです。

〔散布適期〕

雑草名	移植水稻	直播水稻
ホタルイ	4葉期まで	
ヘラオモダカ	4葉期	—
ミズガヤツリ		—
ウリカワ	3葉期まで	
クログワイ	草丈10cmまで	—
オモダカ	矢じり葉抽出前まで	
シズイ	草丈3cmまで	—
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期まで	
コウキヤガラ	発生始期まで	

- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前～発生始期(鞘葉抽出期)に有効なので、散布適期を失ないように散布してください。
- 必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは、発生期間が長く生育段階によって効果にブレがあるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。また、オモダカ、クログワイは有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 稲の植付けが均一となるように、代かきをていねいに行ってください。
- 未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 2) 軟弱な苗を移植した水田
 - 3) 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
 - 4) 散布後低温傾向が続き稲の生育が著しく停滞すると予想される場合
- 稲の根が露出する条件下では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合、十分注意してください。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



極端な漏水田



軟弱苗を移植したとき、苗の活着が不十分なとき



異常高温

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

※本印刷物は2025年12月時点での知見に基づいて作成しています。